

批判的实在論(CR)版 M-GTA への招待 一質的研究の未来を拓く

2026年6月～12月 全6回 オンライン開催 (Zoom Meeting)

第1回	6月13日(土)	14:00～16:00	(理論編)	スタンダード版 M-GTA: 実践と理論を架橋する質的研究方法論
第2回	7月18日(土)	14:00～16:00	(理論編)	なぜ質的研究に CR 版 M-GTA が必要か
第3回	9月19日(土)	14:00～16:00	(実践編)	CR 版 M-GTA の分析方法
第4回	10月17日(土)	14:00～16:00	(実践編)	CR 版 M-GTA を実際に応用する
第5回	11月21日(土)	14:00～16:00	(発展編)	CR を用いたエスノグラフィー
第6回	12月19日(土)	14:00～16:00	(発展編)	発展し続ける質的研究法

修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) は、社会学者の**故木下康仁氏** (元立教大学社会学部教授、元聖路加国際大学大学院特命教授、元社会福祉研究所所長) が提唱し、今日、特に医療、看護、介護、福祉、心理などヒューマンサービスの分野で広く受け入れられている質的研究法である。しかし木下氏は、新しい「批判的实在論(CR)版 M-GTA」を構想していた。本セミナーでは、木下氏の研究の軌跡を振り返り、木下氏が集大成として展望していた CR 版 M-GTA を研究実践に役立つ手法として学ぶ。初心者にとっては、研究とは一体何のためにあるのかを理解するセミナーとなり、研究経験者は、質的研究と研究の意義について理解を深めることができる。

受講者は、木下康仁著『定本 M-GTA: 実践の理論化をめざす質的研究方法論』(2020年、医学書院、3,520円 [税込]) を必ず入手すること。指定された文献を予め読み、講義のあと全員でのディスカッションに参加し、意欲的に取り組むことが期待される。その他の資料は、必要に応じて講師が用意する。

講師

- 第1回 山崎 浩司氏(静岡社会健康医学大学院大学教授)
第2、3、6回 梶原 はづき氏(社会福祉研究所研究員)
第4回 荒居 康子氏(聖路加国際大学看護学研究科博士後期課程修了)
第5回 松井 芽衣子氏(大阪成蹊大学看護学部助教)

■対象■ 学生、教職員、一般(質的研究に興味のある市民、研究者、ヒューマンサービス分野の実践者など)

■定員■ 30名
(先着順、最小開催人数20名)

指定の申込フォームにより事前申込
(全6回の参加を前提とし、申込後のキャンセルは認めません)

■受講料■ 全6回で 一般・教職員 5,000円
学生 1,000円

■問合せ先■ 社会福祉研究所事務局
r-fukushi@rikkyo.ac.jp

お申し込みフォームは、
こちらのQRコードから

申込締切は
5月26日(火) 正午

